

# 2015年度第3四半期 決算説明会

2016年1月29日  
株式会社村田製作所

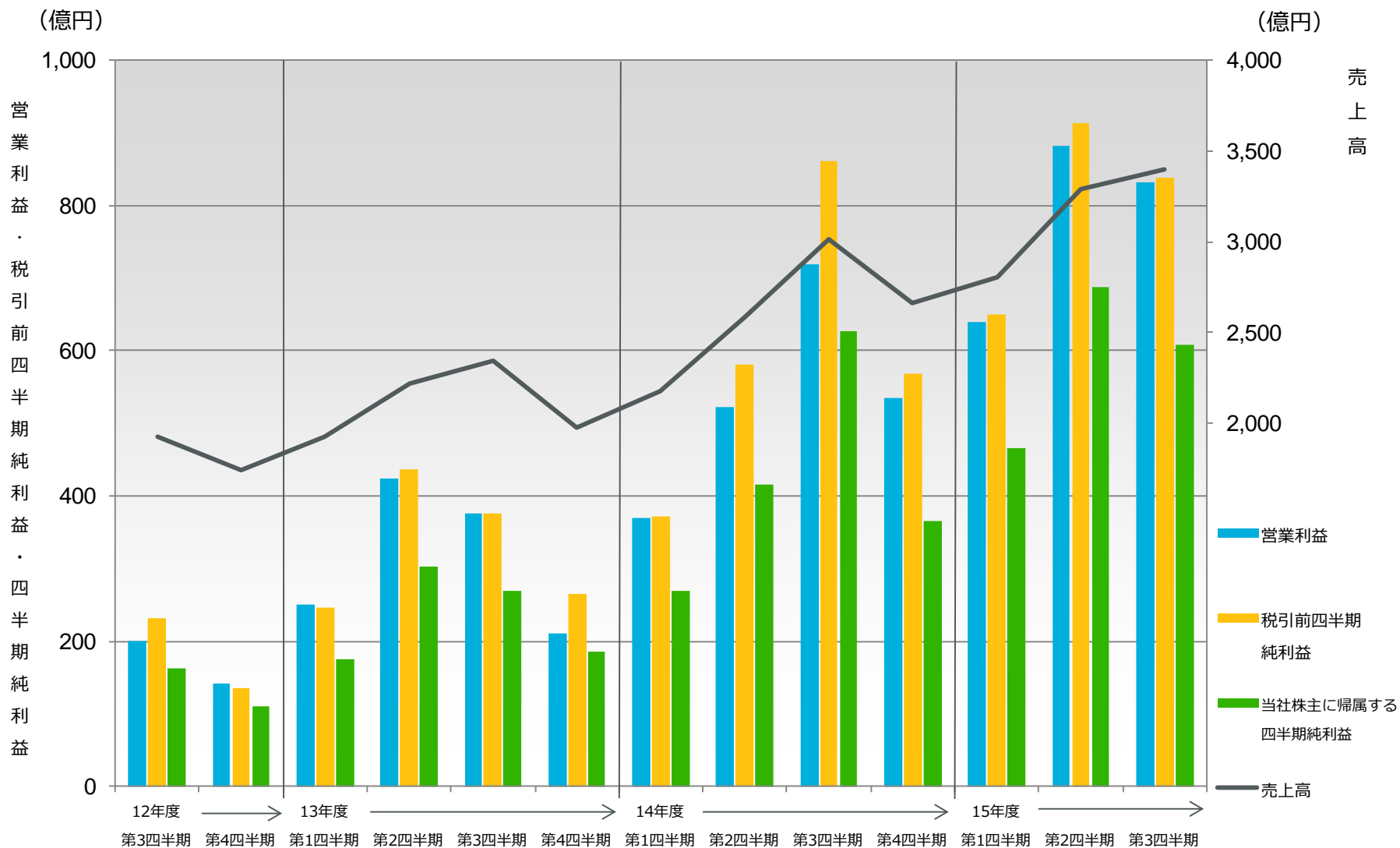


# 1. 2015年度 第3四半期業績概要

2015年10月～2015年12月  
第3四半期連結会計期間

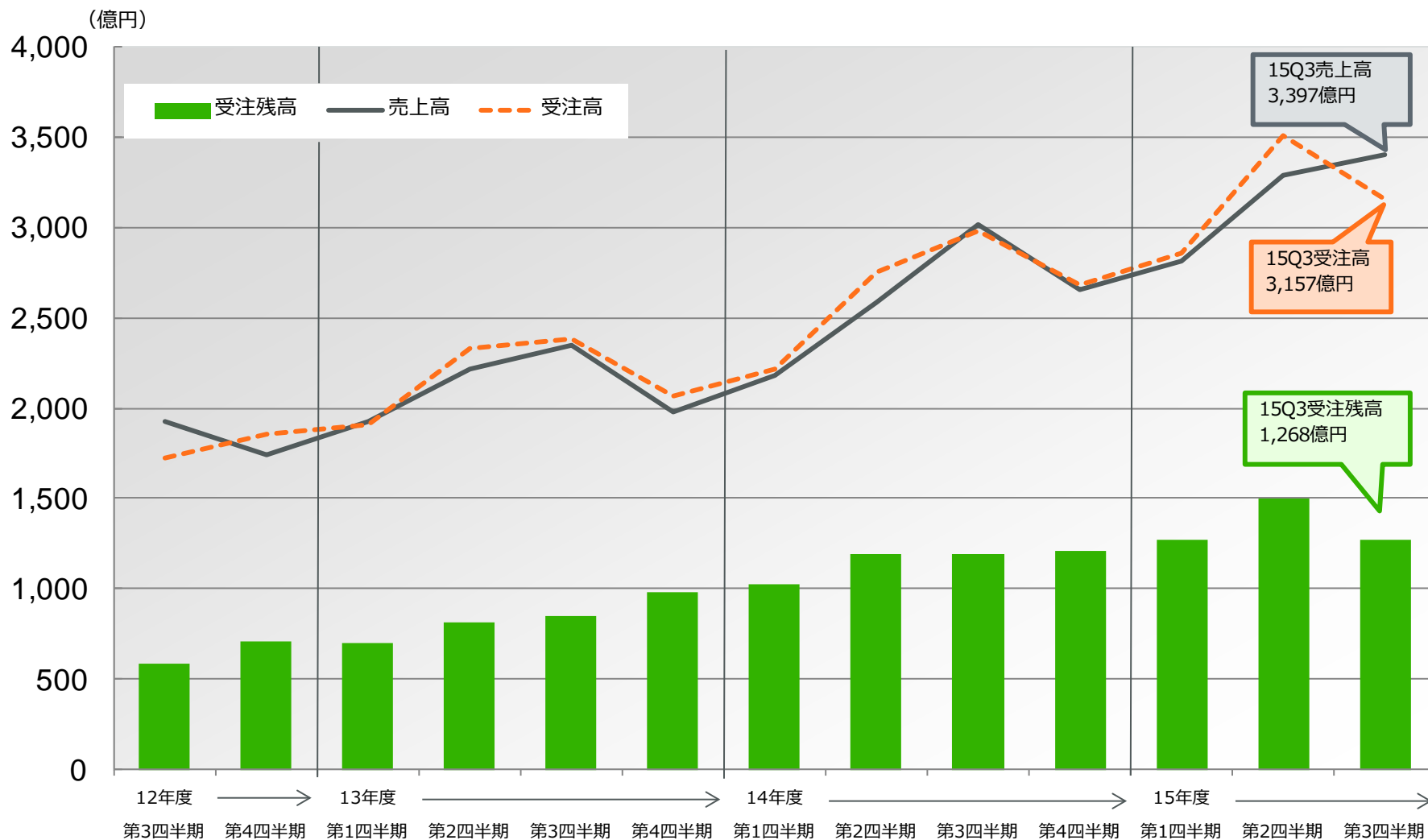
- スマートフォン向けに表面波フィルタ、通信モジュールの需要が拡大し、売上高は四半期、9ヶ月累計とともに過去最高を更新。
- 営業利益は前四半期に引き続き高水準。通期の営業利益予想に対して87%の進捗。

# 業績推移 [四半期]

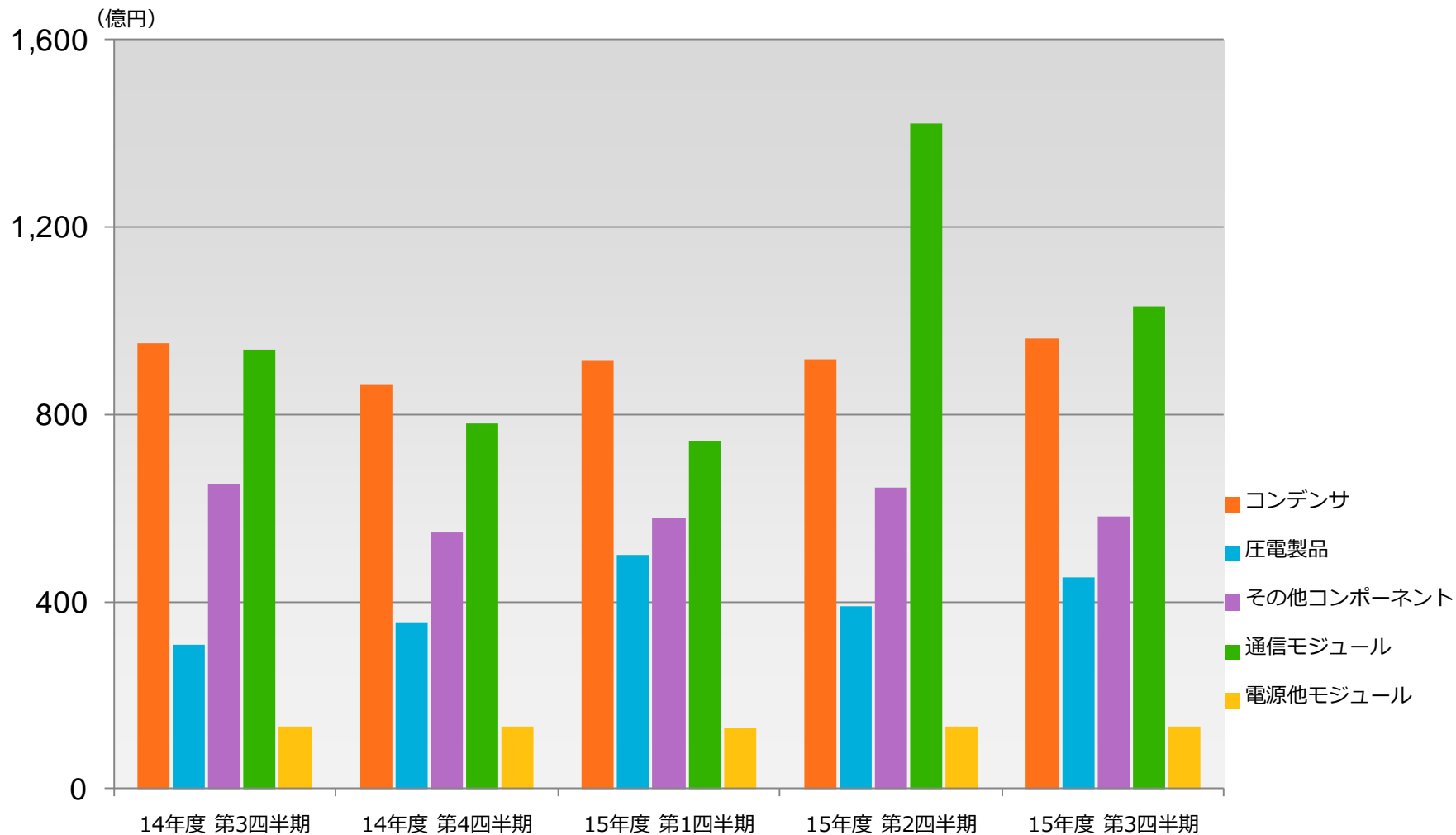


	2014年度 第3四半期		2015年度 第2四半期		2015年度 第3四半期		前年同期比 15Q3/14Q3		直近四半期比 15Q3/15Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	3,011	100.0	3,290	100.0	3,397	100.0	+385	+12.8	+107	+3.3
営業利益	720	23.9	882	26.8	833	24.5	+113	+15.7	▲49	▲5.6
税引前四半期純利益	862	28.6	913	27.8	837	24.6	▲25	▲2.9	▲76	▲8.3
当社株主に帰属する 四半期純利益	627	20.8	688	20.9	608	17.9	▲19	▲3.1	▲80	▲11.7

# 売上・受注・注残推移 [四半期]



# 製品別受注高推移



# 製品別売上高

	2014年度 第3四半期		2015年度 第2四半期		2015年度 第3四半期		前年同期比 15Q3/14Q3		直近四半期比 15Q3/15Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	946	31.5	955	29.1	972	28.7	+27	+2.8	+18	+1.9
圧電製品	316	10.5	419	12.8	435	12.9	+118	+37.4	+16	+3.8
その他コンポーネント	647	21.6	638	19.5	621	18.3	▲26	▲4.1	▲18	▲2.7
通信モジュール	964	32.1	1,130	34.4	1,230	36.3	+266	+27.6	+100	+8.9
電源他モジュール	129	4.3	137	4.2	130	3.8	+1	+0.4	▲8	▲5.5
製品売上高計	3,002	100.0	3,279	100.0	3,388	100.0	+386	+12.8	+109	+3.3



# 製品別売上高概況

[2015年度第2四半期→2015年度第3四半期]

コンデンサ (直近四半期比+ 1. 9%)	○チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) AV機器向けが低調も、スマートフォン向けで小型品・小型大容量品が好調なほか、 カーエレクトロニクス向けも堅調
圧電商品 (直近四半期比+ 3. 8%)	○表面波フィルタ 中華圏でのマルチバンド対応のLTE端末の生産台数の増加により好調  ○圧電センサ 超音波センサが車載の安全装置向けに大きく伸長
その他コンポーネント (直近四半期比▲ 2. 7%)	○コイル 高周波用チップコイルがスマートフォン向けで増加 ▲コネクタ スマートフォン向けで前四半期の反動減により減少
通信モジュール (直近四半期比+ 8. 9%)	○近距離無線通信モジュール スマートフォン向けで大幅に増加  ○多層モジュール 新製品の投入効果もあり、スマートフォン向けで非常に好調
電源他モジュール (直近四半期比▲ 5. 5%)	▲電源 カーエレクトロニクス向けが減少

# 用途別売上高

	2014年度		2015年度		2015年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		15Q3/14Q3		15Q3/15Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
A V	133	4.4	139	4.2	118	3.5	▲16	▲11.7	▲21	▲15.3
通信	1,736	57.8	2,015	61.4	2,177	64.3	+442	+25.4	+163	+8.1
コンピュータ及び関連機器	495	16.5	452	13.8	436	12.8	▲59	▲12.0	▲16	▲3.5
カーエレクトロニクス	366	12.2	386	11.8	389	11.5	+23	+6.3	+3	+0.7
家電・その他	272	9.1	288	8.8	268	7.9	▲4	▲1.5	▲19	▲6.7
製品売上高計	3,002	100.0	3,279	100.0	3,388	100.0	+386	+12.8	+109	+3.3

(注) 当社推計値に基づいております

# 用途別売上高概況

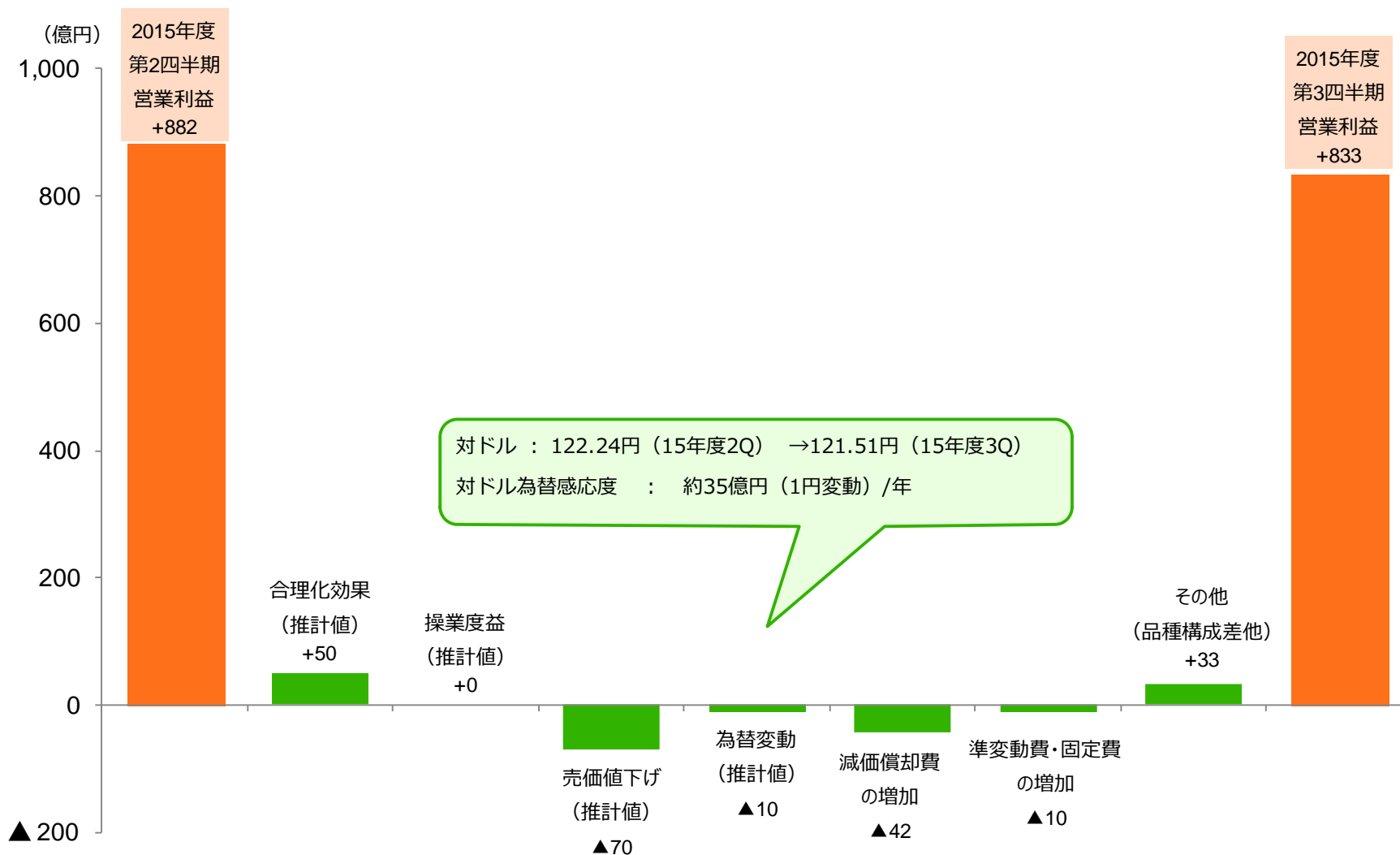
[2015年度第2四半期→2015年度第3四半期]

A V (直近四半期比▲15.3%)	○ セットトップボックス向けで大容量コンデンサが増加 ▲ ゲーム機向けでコンデンサが大きく減少
通信 (直近四半期比+8.1%)	○ スマートフォン向けでハイエンドLTE端末の生産台数増加により、近距離無線通信モジュール、多層モジュール、通信機器用モジュール、コンデンサ、コイルが大幅に増加 ○ 中華圏でのマルチバンド対応のLTE端末の生産台数増加により、表面波フィルタ、コンデンサが好調
コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比▲3.5%)	○ 大容量HDD向けでアクチュエータが大きく増加 ▲ タブレット端末向けで近距離無線通信モジュールが減少
カーエレクトロニクス (直近四半期比+0.7%)	○ 電装化の進展により、車載用コンデンサが堅調 ▲ カーオーディオ向けで電源モジュールが減少

(注) 当社推計値に基づいております

# 利益変動要因

[2015年度第2四半期→2015年度第3四半期]



## 2. 2015年度 業績予想

2015年4月～2016年3月

# 2015年度 業績予想

	前回予想 (15年4月)			今回予想					
	上期予想	下期予想	2015年度 通期予想	上期実績		下期予想		2015年度 通期予想 (10月時予想)	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	5,720	5,880	11,600	6,098	100.0	5,902	100.0	12,000	100.0
営業利益	1,300	1,200	2,500	1,521	24.9	1,199	20.3	2,720	22.7
税引前当期純利益	1,320	1,200	2,520	1,563	25.6	1,197	20.3	2,760	23.0
当社株主に帰属する 当期純利益	960	870	1,830	1,154	18.9	866	14.7	2,020	16.8

10月公表値の見直しを行っておりません。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

